【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公開番号】特開2011-112780(P2011-112780A)
【公開日】平成23年6月9日(2011.6.9)
【年通号数】公開・登録公報2011-023
【出願番号】特願2009-267663(P2009-267663)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　21/06　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　21/06

【手続補正書】
【提出日】平成24年12月27日(2012.12.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光源からの照明光を走査するレゾナント型スキャナを含む走査部と、該走査部により走査された照明光が照射されることによる試料からの戻り光を検出する光検出部と、該光検出部により検出された戻り光の光量と前記走査部による照明光の走査位置情報とに基づいて２次元画像を生成する画像生成部と、フレームレートを設定するフレームレート設定部とを備え、
前記画像生成部が、前記フレームレート設定部により設定されたフレームレートにより最大フレームレートを除算して得られた回数だけ前記光検出部により順次検出された同一走査位置の戻り光の光量を積算して２次元画像を生成する走査型顕微鏡。
【請求項２】
前記光源から発せられる照明光の光量を設定する光量設定部と、
該光量設定部により設定された光量を前記回数で除算した光量となるように、前記試料に照射される照明光の光量を調節する光量調節部とを備える請求項１に記載の走査型顕微鏡。
【請求項３】
前記画像生成部が、前記レゾナント型スキャナによる往動作時または復動作時のいずれかに前記光検出部により検出された同一走査位置の戻り光の光量を積算して２次元画像を生成する請求項１または請求項２のいずれかに記載の走査型顕微鏡。
【請求項４】
バックグラウンド光量を設定するバックグラウンド設定部と、
前記画像生成部が、積算して得られる戻り光の光量から前記バックグラウンド光量に前記回数を乗算した光量を減算して２次元画像を生成する請求項１から請求項３のいずれかに記載の走査型顕微鏡。
【請求項５】
前記走査部が、前記レゾナント型スキャナによる照明光の走査ラインを全て異ならせるように駆動され、
前記画像生成部が、フレーム毎に前記戻り光の光量を積算する請求項１に記載の走査型顕微鏡。
【請求項６】

前記走査部が、前記レゾナント型スキャナによる照明光の走査ラインを前記回数分の走査毎に異ならせるように駆動され、
前記画像生成部が、ライン毎に前記戻り光の光量を積算する請求項１に記載の走査型顕微鏡。